

目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 最新情報..... | 1 |
| RS-232C プロトコル仕様書の入手方法について..... | 1 |
| メンテナンス項目..... | 1 |
| V1.18の修正..... | 1 |
| V1.17の修正..... | 1 |
| V1.16の修正..... | 1 |
| V1.15の修正..... | 2 |
| V1.14の修正..... | 2 |
| V1.13の修正..... | 2 |
| V1.12の修正..... | 2 |
| V1.11の修正..... | 2 |
| V1.10の修正..... | 2 |
| ファームウェアバージョンの確認..... | 3 |
| ファームウェアアップデート手順..... | 3 |
| ドライブファームウェアバージョンの確認..... | 4 |
| ドライブファームウェアアップデート手順..... | 4 |

最新情報

本機のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) にてご確認ください。

RS-232C プロトコル仕様書の入手方法について

本機のRC-232C プロトコル仕様書は、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) に掲載されていますので、ご参照ください。

メンテナンス項目

V1.18の修正

- ドライブファームウェア「1.0A」において、一部のCDが再生できない不具合を改善するために、ドライブファームウェアを「T.0C」にアップデートしました。
ドライブファームウェアを「T.0C」にアップデートするには本体のファームウェアを「V1.18」にアップデートしてください。

メモ

ドライブファームウェアが「1.0A」以外の場合、本体のファームウェアを「V1.18」にアップデートする必要はありません。

注意

ドライブファームウェアが「1.0A」の場合は、本体のファームウェアを「V1.18」以降にアップデート後、ドライブのファームウェアを「T.0C」にアップデートしてください。

V1.17の修正

- 一部のMP3ファイルが再生できない不具合を修正しました。
- Mac OSで作成されたデータCDが一部再生できない不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

V1.16の修正

- 特定のオーディオCD（CD-DA形式）が再生されない不具合を修正しました。

TASCAM CD-500/500B Release Notes

V1.15の修正

- ISRC*が登録されていないCD-DAでトラックスキップや早送り、早戻しを繰り返した後に再生動作を行うと、再生に時間が掛かってしまう不具合を修正しました。
- トラック番号が1から開始されていないCD-DAの場合、本体またはリモコンの数字ボタンを使ってトラック番号が指定できない不具合を修正しました。

※ ISRC(International Standard Recording Code)

レコーディング（オーディオレコーディングおよび音楽ビデオレコーディング）の識別に利用される国際標準コード。

V1.14の修正

- シングル再生モード中に**CALL**ボタンを押すと、シングル再生モードが解除されてしまう不具合を修正いたしました。
- MP3 / WAVを記録したメディアで、正しくファイル数が表示されなかったり、再生の順番が間違ってしまう場合がある不具合を修正いたしました。
- プログラム再生モードかつリピートモード時、停止中から**PAUSE**ボタンで一時停止中にしてから再生を開始すると、プログラムの最後の曲から再生が始まってしまう不具合を修正いたしました。
- インデックス検索をした時に、検索が終了するまでに長い時間がかかってしまう場合があった不具合を修正いたしました。

V1.13の修正

- プログラム設定がディスクを抜くと解除されてしまう不具合を修正いたしました。

V1.12の修正

- RS-232Cコマンド「MECHA STATUS SENSE (0x50)」に対して返信出力される本体の状態が、停止中、再生中、一時停止中、常に「DISC EJECT動作中 (0x01)」となる不具合を修正いたしました。

V1.11の修正

- フェードアウトタイム設定時、本体の **II [PAUSE] [JOG]** ボタンまたはリモコンの **II PAUSE** ボタンを押してもフェードアウト機能が動作しない不具合を修正いたしました。
- フラッシュスタート機能で再生した場合に、オーディオCDの状態によって再生が不安定になる場合がありますでしたが、これを改善いたしました。
- レジューム機能オンかつパワーオンプレー機能オンの場合、電源投入時にレジューム機能が動作しない不具合を修正いたしました。

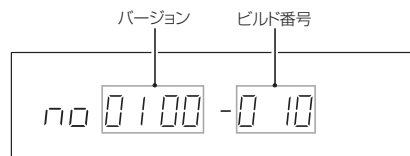
V1.10の修正

- MP3 / WAVファイル（32k/48kHz）の再生時間の表示精度を改善いたしました。
- プログラムモードで**CALL**ボタンを押し、一時停止中の状態から再生を開始すると、登録したプログラムの先頭のトラックから再生を開始していましたが、一時停止したポイントから再生を開始するように変更いたしました。
- プログラムモードで停止中に**SKIP ◀▶** ボタンを押すと、登録したプログラムの先頭のトラックから再生を開始していましたが、登録したプログラムの最終トラックから再生を開始するように変更いたしました。

ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアアップデート作業前に、お手持ちのCD-500/500Bのファームウェアバージョンを確認します。

1. 本体の電源を入れてください。
2. 本体をメニューモードにし、メニュー番号 **“21 INFO”** を選択します。詳しくは、CD-500/500Bの取扱説明書 第4章「メニュー操作」の「メニュー操作の基本」をご参照ください。
3. 本体のPITCH [MENU] つまみ、またはリモコンのENTERボタンを押して、ディスプレイにシステムのファームウェアバージョンを表示します。



ここで表示されるシステムのファームウェアバージョンが、これからアップデートしようとしているファームウェアバージョンと同じ、または新しい場合はアップデートの必要はありません。

ファームウェアアップデート手順

何も書き込まれていないCD-RまたはCD-RWディスクと、データCDを作成できる環境（パソコン）を用意します。

注意

ファームウェアアップデート中に本体の電源が切れてしまわないように十分注意してください。ファームウェアアップデート中に電源が切れると再起動できなくなり、本体が故障する可能性があります。

1. ファイルのダウンロード

TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) より最新のファームウェアをダウンロードします。ダウンロードを行ったファイルがZIP形式等の圧縮ファイルの場合は解凍してください。

2. アップデート用データCDの作成

ダウンロードしたファームウェア（V1.18の場合は8個のファームウェア、CD5B00118.upd、C5C00118.upd、C5D00118.upd、C5M00118.upd、C5R00118.upd、C5R10118.upd、C5S00118.upd、C5S10118.upd）をディスクに書き込みます。CD-RまたはCD-RWディスクへの書き込みフォーマットは、ISO9660 Level 1（MS-DOS互換）Disc at onceで行ってください。

3. ファームウェアアップデート

- 1) 本体の電源を入れてください。
- 2) ディスプレーに **“no disc”** が表示されていることを確認し、本体のSEARCH ◀◀ [A.CUE] ボタンとSEARCH ▶▶ [A.READY] ボタンを同時に押しながらEJECTボタンを押します。
- 3) ディスプレーに **“UPDATE IN”** が表示されていることを確認し、アップデート用データCDを挿入します。



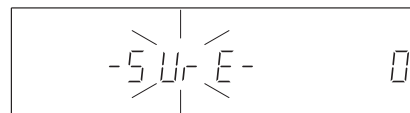
- 4) 本体のPITCH [MENU] つまみを押すごとに、ディスプレイに **“OLD XXXX”**（現在のバージョン）→ **“NEW XXXX”**（アップデートするバージョン）→ **“SURE”** → **“UPDATE”** と表示され、アップデートが開始されます。



[現在のバージョン表示]



[アップデートするバージョン表示]



[アップデート確認表示]



[アップデート中の表示]

- 5) アップデートが終了すると、ディスプレイに **“COMPLETE”** と表示されます。



- 6) EJECTボタンを押して、アップデート用データCDを取り出し、電源を切ってください。

4. ファームウェアバージョンの確認

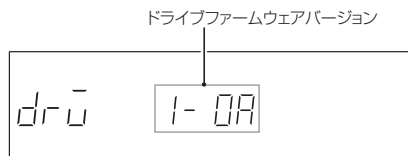
「ファームウェアバージョンの確認」を参照してシステムのファームウェアバージョンが最新のファームウェアとなっていることを確認してください。

以上で本機のアップデート作業は終了です。

ドライブファームウェアバージョンの確認

ドライブファームウェアアップデート作業前に、お手持ちのCD-500/500Bのドライブファームウェアバージョンを確認します。

1. 本体の電源を入れてください。
2. ディスプレーに **"no disc"** が表示されていることを確認し、本体の9ボタンとSHIFTボタンを押しながらPITCH [MENU] つまみを押すとディスプレイにドライブのファームウェアバージョンが表示されます。



ここで表示されるドライブのファームウェアバージョンが1.0A以外の場合はアップデートの必要はありません。

ドライブファームウェアアップデート手順

何も書き込まれていないCD-RまたはCD-RWディスクと、データCDを作成できる環境（パソコン）を用意します。

注意

ファームウェアアップデート中に本体の電源が切れてしまわないように十分注意してください。ファームウェアアップデート中に電源が切れると再起動できなくなり、本体が故障する可能性があります。

1. ファームのダウンロード

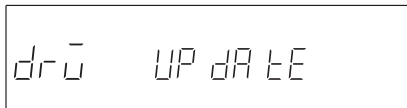
TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) より最新のファームウェアをダウンロードします。ダウンロードしたファイルがZIP形式等の圧縮ファイルの場合は解凍してください。

2. アップデート用データCDの作成

ダウンロードしたファームウェアをディスクに書き込みます。CD-RまたはCD-RWディスクの書き込みフォーマットは、ISO9660 Level 1 (MS-DOS互換) Disc at onceで行ってください。

3. ファームウェアアップデート

- 1) 本体の電源を入れてください。
- 2) ディスプレーに **"no disc"** が表示されていることを確認し、本体のSTOPボタンとCALLボタンを同時に押しながらかEJECTボタンを押します。
アップデート対象のドライブの場合、ディスプレイに **"DRV UPDATE"** が表示されます。

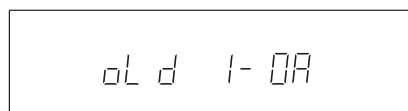


メモ

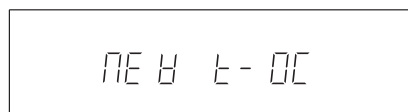
アップデート対象外のドライブの場合は **"DRV UPDATE"** は表示されません。以下のアップデート作業は不要です。

- 3) ディスプレーに **"DRV UPDATE"** が表示されていることを確認し、ドライブファームアップデート用データCDを挿入します。
データのロードが終了するとディスクが排出されますので、ディスクを取り出してください。

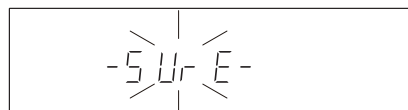
- 4) 本体のPITCH [MENU] つまみを押すごとに、ディスプレイに **"OLD XXXX"** (現在のバージョン) → **"NEW XXXX"** (アップデートするバージョン) → **"SURE"** → **"UPDATE"** と表示され、アップデートが開始されます



[現在のドライブファームウェアバージョン表示]



[アップデートするドライブファームウェアバージョン表示]



[アップデート確認表示]



[アップデート中の表示]

アップデートが終了するまで、約40秒かかります。

- 5) アップデートが終了すると、ディスプレイに **"COMPLETE"** と表示されますので、電源を切ってください。



4. ドライブファームウェアのバージョン確認

「ドライブファームウェアバージョンの確認」を参照して、ドライブのファームウェアバージョンが最新のファームウェアとなっていることを確認してください。

以上でドライブのアップデート作業は終了です。